

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	Y.L	学部・学科	国際教養学部
学年	4年	派遣国	カナダ
派遣大学	ブリティッシュコロンビア大学		
期間	2022年 9月 24日～ 2023年 5月 28日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 (ホームステイ)					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 ( 12万 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( バス ) で、約 ( 55 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	3万円	昼ごはんが学校で食べていて、放課後もよく友達と外食しました。
学用品購入費	0円	特にないです
交通費	0円	学費に含まれています
交際費	3万円	週末の外出
その他	1万円	日用品の購入、通信会社の費用
<b>合計</b>	<b>7円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

全体的にはカナダは安全な国で、バンクーバーはその中でも比較的に安全な都市です。危険地域というとダウンタウンの中華街辺はホームレスが大勢住んでいるので、用事がなければ行かない方がいいです。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / <span style="background-color: yellow;">その他</span> (AIG 海外旅行保険)		
加入期間	( 9 ) ヶ月間	保険料	( 255,020 ) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	IMED		
加入期間	( 8 ) ヶ月間	保険料	( 68, 000 ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 ( バンクーバー )

バンクーバーは多様な文化が寛容に混ざり合い、気候も温暖で自然環境にも優れているカナダ BC の都市です。 周囲を海や緑に囲まれており、バンクーバーは高層ビル群が並ぶ大都市でありながら、自然と都市が共存する特徴的な都市です。

カナダは多民族国家でもあり、広く異文化を受け入れてきているという背景から、異なる民族や異なる価値観に寛容です。バンクーバーはカナダの中でもアジアに近いのでアジア系の移民も多く、アジア的な価値観を持った人も多くおり、日本人にとっては一番馴染みやすい地域とも言えます。

バンクーバーはトロントに比べると規模も小さい都市なので、そこまで仕事仕事というよりはゆっくりとした時間を大切にする人が多いです。環境の事を考えて行動する人も多く時間もゆっくりと流れていく感覚で日々を過ごしていて、非常に過ごしやすい都市です。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	ブリティッシュコロンビア大 学	所在地	バンクーバー
最寄空港	YVR	空港からの距離	1時間、ホームステイは30分くらい
空港⇄大学	ホストマザーの車 <span style="float: right;">*移動手段</span>		
学生数	70000	留学生数	17000
学部	ビジネス、教育、法律、薬学、歯学、科学、文学、自然科学、応用科学  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Arts  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 12 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	SOCI 102		SOCI 102		SOCI 102  ANTH 100A (tutorial)
午後	ANTH 100A	SOCI 205	SOCI102 (tutorial)  ANTH 100A	SOCI 205	

② ( 1 )月～( 4 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		SOCI 303		SOCI 303	
午後	POLI 260  PSYC 308 A	POLI 260		POLI260	

### 3. 履修内容

科目	Introduction to global politics		
履修期間	第二学期	単位数	3
授業内容／形態	<p>毎週 lecture*3 + tutorials * 1</p> <p>評価は二つの論文は50%、期末テストは25%、課題と出席は25%</p> <p>政治学の理論を戦争、衝突管理、国際経済、公民社会などの課題に応用して解説する授業です。</p>		
成績	74%		
YCU 振替予定	科目	グローバル政治論	
	単位数	2	
	担当教員	上村雄彦	

科目	Social psychology		
履修期間	第二学期	単位数	3
授業内容／形態	<p>レクチャーがメインでした。</p> <p>課題15%、出席10%、中間テスト25%、期末テスト30%、グループワーク20%</p> <p>個人の社会的行動の理論と研究、社会的動機、態度、集団相互作用、社会化、偏見について勉強する授業です。</p>		
成績	64%		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Sociology of migration		
履修期間	第二学期	単位数	3
授業内容／形態	<p>レクチャーがメインでした</p> <p>本の要約10%、期末試験30%、中間試験30%、プレゼンテーション10%、課題20%</p> <p>民族の移動とその時代的影響に対する社会学的アプローチを勉強する授業です。この授業を通じて主な社会学理論から移民や難民の流れを理解しました。</p>		
成績	85%		

YCU 振替予定	科目	国際移住論 B
	単位数	2
	担当教員	坪谷美欧子

科目	Introduction to cultural anthropology		
履修期間	第一学期	単位数	3
授業内容／形態	人類学の基本的な概念と方法、文化と人種、社会システム、宗教、象徴主義、芸術、その他の制度の比較研究。様々な文化から事例を紹介している。 対面 lecture* 2 + 対面 tutorials* 1 / 一週間		
成績	59%		
YCU 振替予定	科目	文化人類学	
	単位数	2	
	担当教員	井上淳生	

科目	Inequality and social change		
履修期間	第一学期	単位数	3
授業内容／形態	不平等、制度、社会構造、社会変動。 対面 lecture* 2 + 対面 discussion* 1 / 一週間		
成績	78%		
YCU 振替予定	科目	社会理論	
	単位数	2	
	担当教員	渡會知子	

科目	Crime and society		
履修期間	第一学期	単位数	3
授業内容／形態	社会現象としての犯罪。カナダやその他の社会における社会的・政治的变化との関連で変化する犯罪の定義に重点を置いている。 対面 lecture* 2		
成績	68%		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	YiLing Lin	学部・学科	国際教養学部
学年	4年	派遣国	カナダ
派遣大学	ブリティッシュコロンビア大学		
期間	2022年 9月 24日～ 2023年 5月 28日		
プログラム	セメスター		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Introduction to global politics
講義内容	政治学の理論を戦争、衝突管理、国際経済、公民社会などの課題に応用して解説する授業です
科目	Social psychology
講義内容	個人の社会的行動の理論と研究、社会的動機、態度、集団相互作用、社会化、偏見について勉強する授業です。
科目	Sociology of migration
講義内容	民族の移動とその時代的影響に対する社会学的アプローチを勉強する授業です。この授業を通じて主な社会学理論から移民や難民の流れを理解しました。
科目	Inequality and social change
講義内容	不平等、制度、社会構造、社会変動。
科目	Crime and society
講義内容	社会現象としての犯罪。カナダやその他の社会における社会的・政治的变化との関連で変化する犯罪の定義に重点を置いている。
科目	Introduction to cultural anthropology
講義内容	人類学の基本的な概念と方法、文化と人種、社会システム、宗教、象徴主義、芸術、その他の制度の比較研究。様々な文化から事例を紹介している。



<総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

留学前に思った「移民国家」はどうしても同化の方向に行ってしまう、カナダで留学することを通じて、多文化共生社会とは、必ずしも全員と一緒に溶け込まなければならないということではなく、例えば、全員が自分の国のグループを持ちながら、同時に全員が他のグループと自信を持って平等にコミュニケーションできることでもあると思うようになりました。

授業を通じて一番思ったのは独立した思考と批判的思考を維持することは重要です。疑問を持ち、学び、成長することは個人的な成長の重要な要素です。政治学の授業を取るとき、一人一人ちゃんと自分の意識形態を持ち、そしてそれに基づいて自己主張ができる学生たちを見て、自分が考える力がまだ足りていないと実感しました。情報をなんでも受け取るのではなく、ちゃんと考える必要があります。

カナダのような多文化共生社会で生活することで世界は多様であり、一つの人にとって真実であることが、別の人にとっては違うことがあることを学びました。“There is no right or wrong, only a difference of perspective”。多様性を尊重、そして評価するのが重要だと思います。

留学では、語学を学ぶだけでなく、世界に目を向けること、積極的に物事に向き合うこと、そして自ら様々な経験をすることがいかに大事であるかを知りました。中国のことわざ「万卷の本を読むより、万里の道を歩く方がいい」の意味を改めて実感し、留学ができて本当によかったです。留学で他国の文化を通じて、自分を深く理解し、グローバルな感覚を養うと同時に、自力心が持てるようになりました。私にとって、日本もカナダも同じ外国であるが、カナダでの積極的な行動と比べ、それまでの日本では何ごとに対してもあまり積極的ではなかったことに気がつきました。物事に向き合う姿勢と行動力の重要性を理解した上で、日本に帰って、私が外国人だからできないという気持ちを転化して、外国人でもできると思える心の強さを得ました。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学から帰ってきてから就職の準備に入りました。自己PRする時留学経験をアピールすることが多いです。磨かれた言語スキル、異なる環境に適応する能力、国際的な視野、コミュニケーションスキルなど留学を通じて得たスキルや経験をうまくアピールできれば、自己差別化ができると思います。

就職活動のほかに、海外の大学院への進学も考えています。もともと環境に流されやすい性格で、周囲からは「文系が大学院に行っても意味がない」と言われるのですが、今までの私ならそれを受け入れていたかもしれません。でも、留学を経験して、いろんな生き方があること、環境に縛られてはいけないことを学びました。就職してから、お金が貯めて、また出発しようと考えています。

日本に帰ってきて、勉強や仕事、生活の中で、現実と向き合い、地に足をつけなければならぬ部分は確かにあるでしょうが、この留学経験があるからこそ、決意できる選択もあるはずです。これからは定義されないように頑張りたいです。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

生活面では、英語のスキル向上のために積極的にコミュニケーションを取り、現地の文化に積極的に参加しましょう。地元の食事やイベントに参加することで、新しい友達を作り、多様な文化に触れることができるので、素晴らしい経験になります。勉強面では、授業に遅れず出席し、宿題をこなすことが大切です。Pre Readingの量が非常に多いので時間管理もちゃんとしたほうが良いと思います。そして、教授やクラスメートに質問をするのは恥ずかしくないで、最初の方は私も質問するのが不慣れでしたが、課題の目的をちゃんと理解しないとうまく進めません。なので、教授やクラスメートに聞くのが重要です。人間関係面では、オープンマインドで接することが大切です。異なる文化やバックグラウンドを尊重し、友達を作る機会として捉えましょう。また、ホームシックになったり、ストレスを感じたら、キャンパスのカウンセリングサービス、特に留学生ラウンジを利用することをおすすめします。留学生がたくさん集まっているのでコミュニティになります。

最後に、カナダは美しい国ですので、休暇や週末には国内観光を楽しんでください。自然景色やアウトドアアクティビティは素晴らしいものがたくさんあります。Banff national park! highly recommend!